

団体名	公益社団法人 教育演劇研究協会
種類	☐ 特定非営利活動法人 ☐ 任意団体 ☒ その他（公益社団法人）
主な活動分野	☐ 福祉 ☐ 環境 ☒ 文化 ☐ スポーツ ☒ 子どもの健全育成 ☐ その他の社会貢献に係る分野（ ）
団体の目的	学校及び社会における教育演劇の研究と実技の指導、並びにそれに必要な各種の事業を行い、文化芸術教育の醸成や芸術創造活動の推進に寄与すること。
団体の活動	＜団体の活動概要＞ ・「すべての子どもたちに夢を！」を活動理念として、以下の事業を実施。 （1）学校及び社会における教育演劇の研究と実技の指導 （2）直属劇団「劇団たんぽぽ」による教育演劇事業の公開と文化芸術教育への参加。 ・演劇公演事業において公益性が認められ、平成 24 年に公益社団法人へと移行。 児童青少年向け演劇を行う劇団としては、全国で唯一の公益社団法人。 ＜主な活動実績＞ ・全国の小中学校等における演劇鑑賞教室（平均 350 公演／年）。 創立以来の公演回数は、延べ 44,000 回に上る。 ・浜松市を拠点に、北海道から沖縄県まで全国で活動。市内の全小中学校で公演実績あり。
	特に力を入れている事業について ＜実施事業＞ ・巡回公演事業及びホール公演事業（学校での演劇鑑賞教室の実施やホール等での公演） ・児童生徒を対象とした演劇セミナー（ワークショップ） ・一般や地域住民、教員を対象とした研修会やワークショップ、演劇体験事業 ・（令和3年～）小中学生対象の地域クラブ活動（はままつ演劇クラブ） ＜認識している地域課題、実施事業の必要性＞ ・浜松市の教育についてのアンケートで、今後、浜松市が取り組む教育施策で重要だと思うものについて、「心を育む道德教育や多様性を認める人権教育」であるというのが、約4割と最も高い回答となっている。 ・当団体の演劇公演事業やワークショップ活動は、子どもたちの心を育むために、最適な手段であると考えている。演劇やワークショップを通して体験することは、創造力や想像力を高め、コミュニケーション能力も高めることにつながる。演劇には正解がなく、答えの出せないテーマを演劇を通して考えてもらう場面は多いため、そのような機会をつくれる当団体の事業は、今後の教育において必要であると考える。 ・また、学校での演劇鑑賞教室を継続することは、体験格差の解消に必要であると考える。 ＜実施事業の目標、成果の確認方法＞ ・目標は、より多くの人たちに、当団体の事業に参加していただくこと。それは、学校で児童生徒が鑑賞することによる参加であったり、ホール公演などに家族で参加していただくことであったり、ワークショップ等を体験してもらうことであったりなどの機会を増やすことでもある。 ・数値としての成果は、毎年統計をとり確認することが可能。ただし、心の成長などの成果は、確認が難しいため、できる限り多くの方からアンケートを取るなど、意見や感想などを取り入れながら確認していく。 ＜今後の方向性＞ ・学校公演活動以外に、児童青少年に対する表現活動や、コミュニケーション活動のワークショップなども合わせた教育演劇活動も積極的に行っていく。 ・地域で活動する団体の強みを生かし、行政や団体との連携、協働活動を展開し、発展させていきたい。
他組織との協働等の実績	＜他組織から受けた助成金、物品等の支援の実績＞※直近2か年度分を記載 ・令和4年度 芸術文化振興基金助成金、文化芸術振興費補助金、 浜松市文化団体活動支援助成金、子供のための文化芸術鑑賞体験事業 ・令和5年度 芸術文化振興基金助成金、浜松市創造都市推進事業補助金、 はままつ文化芸術活動助成金 ＜他の NPO・市民活動団体、企業、行政等との協働実績＞ ・浜松市環境政策課との環境劇の製作、公演 ・あったか農場との協働イベント ・昆虫食倶楽部との演劇製作公演 ・SBS プロモーションとの地域劇団指導上演 ・浜松市内協働センターとの地域住民参加型公演の実施

情報公開について	<活動内容の報告方向> ・団体の公式ホームページ・Instagram・X(旧 Twitter)・フェイスブックを利用。 ・社員総会にて、活動報告。見学受け入れ。機関紙発行。 <寄附を受けた場合、寄附者への活動報告の方法> ・機関紙の送付。公演のご招待。
寄附金募集方法・計画	・団体の公式ホームページや、SNS 等で募集呼びかけ。 ・募集案内を作成し、協力機関や団体へ配架、配布。 ・一般市民はじめ、企業や団体へも募集を呼びかける。
目標寄附額	100 万円(1事業年度間)
寄附金でできること	<寄附金の使途> ワークショップや公演の開催 ・10 万円の寄附で、ワークショップや小スペース規模の公演を実施可能。 ・10 万円～100 万円の寄附で、100 人～600 人規模の公演を会館等で実施可能。